

令和元年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1) 規律ある授業づくりに努めるとともに、個に応じた指導を通して生徒の意欲を引き出し、基礎学力の定着を図る。
 (2) 基本的な礼儀を身に付けさせ、社会に適応できる能力や態度を養う。
 (3) 就業指導を充実させ、就職内定に向けた粘り強いチャレンジをさせる。

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	①規律ある授業づくり	B	保護者とのさらなる連携によって生徒の状況を的確に把握し、教職員が情報を共有して指導に活かす。	B	B
	②学ぶ意欲を引き出す授業づくり	B	授業研究を主に、月例の校内研修会の内容をさらに充実させる。	B	B
学校関係者評価委員会における意見	生徒・保護者アンケート及び生徒対象の授業評価アンケートの結果から、現在の取組は肯定的に評価できる。取組の継続と充実が望まれる。				
生徒指導	①基本的な礼儀、生活習慣の確立	B	今年度から始めた「NoスマホDay」を継続し、自己指導力を身に付けさせる。	B	B
	②社会性の育成	B	S CやS S Wとの密な連携により自己指導力の向上を図る。	B	B
学校関係者評価委員会における意見	生徒・保護者アンケートの結果から、現在の取組は肯定的に評価できる。部活動においても全国大会出場が続いており、一定の成果がみられる。取組の継続と充実が望まれる。				
進路指導	①就業指導の充実	B	生徒一人ひとりの特性や事情を把握し、働くことに対する不安感を解消できるよう継続的に指導していく。	B	B
	②進路目標達成に向けた指導	B	面談の充実を図り、生徒一人ひとりの性格や適性を把握して継続的に指導していく。	B	B
学校関係者評価委員会における意見	生徒の実情を踏まえた現在の取組は肯定的に評価できる。取組の継続と充実が望まれる。				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
①学ぶ意欲を引き出す授業づくり	特別支援学校のセンター的機能の活用も含め、教員の協同による学び合いをさらに充実させ、学習指導に活かす。
②社会性の育成	生徒対象アンケートの内容と実施時期を工夫し、生徒の内面的な課題をより細かく把握して指導に活かす。
③就業指導の充実	ハローワークやE T A（雇用主と教師の会）会員事業所との連携をさらに深化させる。